

千葉大学医学部 教育課程編成・実施の方針

「自由・自立の精神」を堅持するために

- 学生が自ら設定した目標の達成に向けて、継続的に自己を評価・検証しつつ主体的な学修を可能とする教育課程を編成し、提供する。
- 専門職業人として自立するための倫理教育を行うとともに、教育課程全般の修学にわたり、社会の規範やルールを尊重する姿勢を涵養する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- 幅広く深い教養、総合的な判断力、豊かな人間性、学問への強い関心を涵養できる普遍教育を提供するとともに、専門導入教育を充実し、それらを基盤として学生が自己の専門領域を修得する意義を理解できる学修機会を提供する。
- グローバル化に対応した学修環境を整備し、地球規模の課題を解決する能力を涵養するために、多様な留学の機会を提供する。同時に、地域を支える人材育成に取り組む。

「普遍的な教養」を涵養するために

- 国内外の多様な文化・価値観、社会、自然、環境を深く理解し、文理横断的・異分野融合的な知を備え、人類や社会が直面する課題に取り組む普遍教育科目を体系的に提供する。
- 普遍教育と専門教育をつなぐ横断的な学修機会を提供する。
- 英語による実践的コミュニケーションが可能になる医学英語能力を修得できる医学英語教育を充実させる。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- グローバル・スタンダードを満たす医学教育に基づく専門領域での必須事項を体系的に修得できる教育課程を編成し、提供する。
- 修得した専門領域での知識、論理的思考や表現の手段を、学生が主体的に活用できる実践的学修の機会を効果的に提供する。
- 医学の進歩・発展を牽引するイノベーション創出のための学修環境づくりを進める。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 英語を中心とした語学教育においては、専門教育とも連携した発信型のコミュニケーションを学修する機会を提供する。
- 専門領域にかかわらず、情報通信技術の活用を含め、必要な情報やデータを適切に収集・分析・活用する方法を修得し、情報を適切に発信することのできる学修の機会を提供する。
- 学生が、グループを単位として、専門領域での問題解決に主体的・能動的に取り組む学修の機会を提供する。
- 専門領域での問題に関して、社会の要求を踏まえた問題解決を実践できる学修

の機会を提供する。

「学修成果の厳格な評価」のために

- 学修成果については、事前にシラバス等で提示する各科目の学修目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。また、成績評価を透明かつ公平に行うため、GPA 制度を採用するとともに、シラバス等に各科目の学修目標を卒業コンピテンシーと関連付けて示し、事前・事後学修や評価法を明示する。
- 講義科目では、客観試験、レポート等でその達成度を評価する。
- 実験・実習・演習科目では、客観試験、レポート、口頭試問、観察評価、実技試験等でその達成度を評価する。